



# 上原中学校

○校長 加納 一好

○副校長 中里 直

○教員数 26人

○講師 11人

学校HP：<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1320120>

上記の教員のほかに、事務、用務、警備、調理員さんなど、さまざまな職員が学校運営に携わっています。

○生徒数・学級数 令和8年5月1日現在

| 学年  | 1年 | 2年  | 3年  | 特別支援 | 合計  |
|-----|----|-----|-----|------|-----|
| 学級数 | 3  | 3   | 3   | 3    | 12  |
| 生徒数 | 94 | 104 | 107 | 18   | 323 |



## 教育目標

一人一人の個性や能力を生かす生徒主体の教育を推進し、凛として気品のある、他とともにより良く生きる、未来を創造する生徒の育成を目指して、次の目標を定める。

- 自主・自律
- 共生
- 未来の創造

## 特色ある教育活動

### 教科教室型での授業

上原中学校は、教科教室型の授業です。

教科教室型とは、教科ごとに専用の教室があり、生徒が時間割に従い、その教室へ移動し授業を受けるシステムです。このことで、授業の専門性や学習意欲が高まります。



教室が共有されるので学級ごとに個人のロッカーが置かれたスペースがあります。そのため教室が広く使えます。



学校説明会

令和8年9月19日(土) 10:50~11:30

## 学校全体で新たな学び

ラーニング・コモンズをはじめ、大きな階段、広い廊下、明るい図書館など、学校全体が学びの場になります。学校中で生徒主体の探究学習が繰り広げられています。タブレットも積極的に利用しながら、分かって楽しい学習活動を目指しています。



## 生徒主体の学校行事

体育祭は個人種目と学年種目があります。クラス対抗全員リレーや全校ダンスなど迫力ある競技や演技が繰り広げられ、クラス旗の下にお揃いの「上原中Tシャツ」を着て盛り上がります。

学習発表会は、合唱コンクールを中心とした秋の【舞台発表】と、授業などで制作した作品を展示する冬の【展示発表】の2本立てです。他の行事も生徒主体で運営します。



## 楽しい部活動

バスケットボール部、バレーボール部、バドミントン部、硬式テニス部、野球部、陸上競技部、競泳部、柔道部、歴史研究部、吹奏楽部、日本文化部、ボランティア部、明星クラブなどの部があります。試合での勝利とともに体力や技術の向上をめざして、先輩も後輩も一緒に仲良く楽しく活動しています。



## 個性を活かす明星学級

特別支援学級「明星学級」があります。一人一人の生徒にきめ細かく対応し、楽しく学習したり生活したりしています。

授業、部活、行事などで通常の学級と日常的に交流しています。毎週木曜日の昼休みにはテラスでプレイタイム（交流タイム）があります。大勢の生徒が参加しています。体育祭で合同で競技や演技を行います。ダンスも一緒に踊りました。



## 新たな挑戦 上原中学校の特色化

### アート・デザインの思考を学び 自分らしい未来を描ける学校へ

渋谷区教育委員会「区立中学校の特色づくりプロジェクト」において、本校は「アート・デザイン」を軸とした新しい学びを始動します。

### 「アート・デザイン」とは

「アート・デザイン」といっても、美術や音楽に特化した教育を行うわけではありません。

本校が大切にしたいのは、知識を身に付ける学びだけではなく、自らの課題への正解を探し自分なりの答えを導き出す学びです。

アートの思考で自分の思いを紡ぎ出し、デザインの思考で課題を解決する力は、変化の激しいこれからの社会において、生徒たちの確かな力になります。美術や音楽といった教科にとどまらず、学校生活のあらゆる場面で「表現する」「創造する」経験を重ねていきます。

また、本校が長年大切にしてきた体育祭や学習発表会（舞台部門）での発表や演奏。その表現に「デザイン」の視点を加えることで、想いをより広く発信する力を育みます。

### 「表現する」「創造する」力の育成

5月28日にシルク・ドゥ・ソレイユ アウアナによるハワイ特別授業を行いました。これこそハワイの歴史や文化をパフォーマンスで表現したアートです。本校はアーティストを含めた表現のプロを招いて「表現する」「創造する」力を育成する計画を立てます。



ローラースケートによるパフォーマンス

### プログラム（検討中）

- 1年生前期 アート・デザインの思考探究基礎
- 1年生後期 エクスターンシップ（職場体験）課題解決プログラム
- 2年生前期 動画作成プロジェクト（学校や地域の宣伝）
- 2年生後期 ライフデザインプログラム（これからのキャリアデザイン）

こうしたプログラムに、その分野の第一人者を招き、視野を広げます。